

食品安全情報（微生物） No.18 / 2025（2025.09.03）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. 卵に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 28 日付初発情報)
2. 冷凍豆モヤシに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Anatum) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 22 日付更新情報)
3. 小規模飼育の家禽類に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Anatum、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London* および *S. Mbandaka*) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 21 日付更新情報)
4. 米国のサイクロスポラ症患者に関する 2025 年のサーベイランス調査 (2025 年 8 月 21 日付更新情報)

【[カナダ公衆衛生局（PHAC）](#)】

1. 公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka* および *S. Meleagridis*) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 19 日付更新情報)

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

【[欧州食品安全機関（EFSA）](#)】

1. 2025 年世界食品安全デー：欧州食品安全機関（EFSA）が祝賀行事に参加

【[アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）](#)】

1. リステリア症アウトブレイクを調査中

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

1. 卵に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 28 日付初発情報)

Salmonella Outbreak Linked to Eggs

Aug. 28, 2025

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-08-25/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-08-25/investigation.html> (Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-08-25/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/eggs-08-25/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

疫学・追跡調査によるデータは、Country Eggs 社が供給した卵が *S. Enteritidis* に汚染され、本アウトブレイクの感染源となっている可能性があることを示している。

○ 疫学データ

2025 年 8 月 27 日時点で、*S. Enteritidis* アウトブレイク株に感染した患者が 14 州から計 95 人報告されている (図 1)。患者の発症日は 2025 年 1 月 7 日～7 月 26 日である (図 2)。情報が得られた患者 80 人のうち 18 人が入院した。死亡者は報告されていない。

図 1：サルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイクの居住州別患者数（2025 年 8 月 27 日時点の計 95 人）

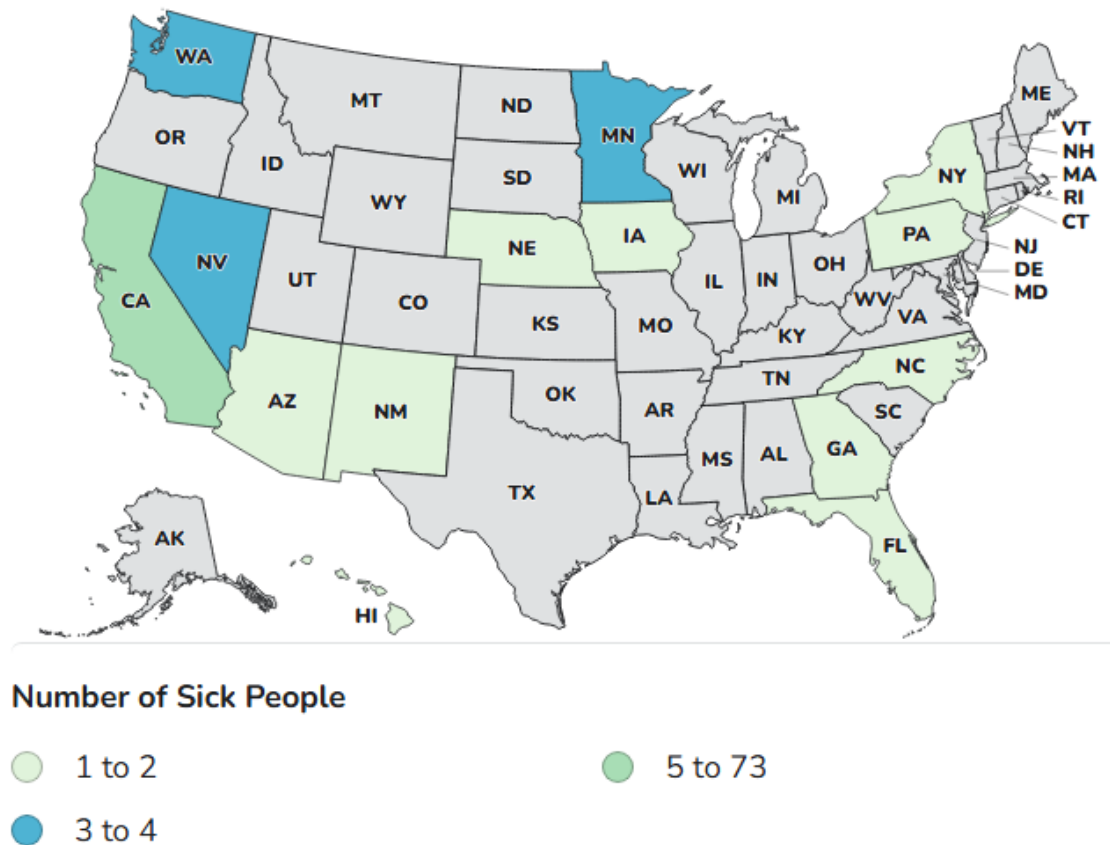
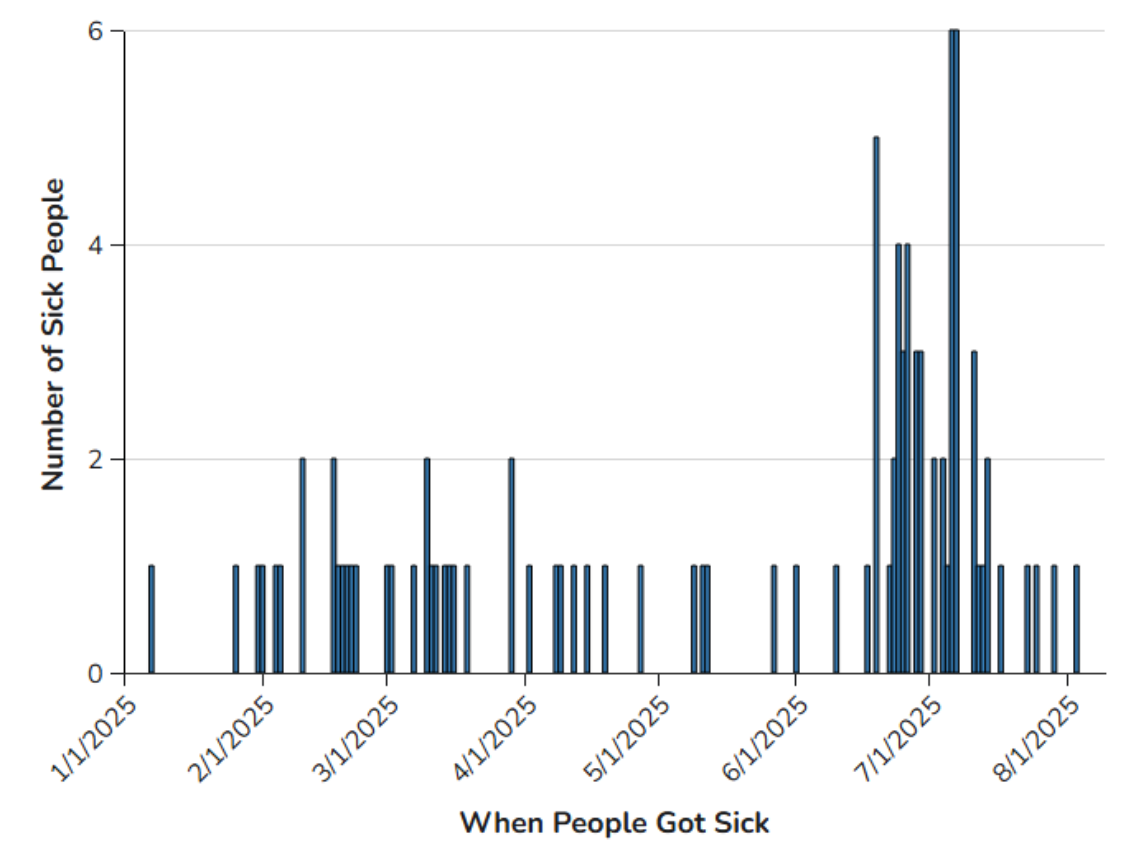


図 2：サルモネラ（*Salmonella Enteritidis*）感染アウトブレイクの発症日別患者数（2025 年 8 月 27 日時点の計 95 人）



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に喫食した食品など、アウトブレイク患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢（n=95）	年齢範囲：1～91 歳 年齢中央値：29 歳
性別（n=95）	55%：女性 45%：男性
人種（n=63）	62%：白人 37%：アジア系 1%：アフリカ系アメリカ人または黒人
民族（n=71）	76%：非ヒスパニック系 24%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 36 人のうち 33 人（92%）が卵の喫食を報告した。この割合は、過去に実施された FoodNet の住民調査（以下 Web ページ参照）において、回答者の 78%が調査実施日前 1 週間に卵を喫食したと報告した結果と比べ有意に高い。この喫食率の差は、本アウトブレイクの患者が卵の喫食によって感染したことを示唆している。

<https://www.cdc.gov/foodnet/surveys/population.html>

各州の保健当局は、4 カ所の飲食店に関連した複数の患者サブクラスターを特定した。患者サブクラスターは、飲食店など同じ場所または同じ行事で食事をした互いに関連のない患者で構成されるグループである。このサブクラスターの調査は、全ての患者が喫食した食品の特定に役立ち、アウトブレイクの原因食品の特定につながる可能性がある。上記の患者サブクラスターに関連した 4 カ所の飲食店で卵が提供されていた。

○ 検査機関での検査データおよび追跡調査によるデータ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用している。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には全ゲノムシーケンシング（WGS）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。

WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたサルモネラ株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

患者由来 94 検体から分離されたサルモネラ株について WGS 解析を行った結果、ナリジクス酸への耐性およびシプロフロキサシンへの非感受性（NSC）が予測された。この NSC 株は、鶏肉・卵・小規模飼育の家禽類から分離された *S. Enteritidis* 株（FDA の以下 Web ページ参照）に関連している。

<https://www.fda.gov/animal-veterinary/national-antimicrobial-resistance-monitoring-system/narms-interim-data-updates#682e242c00467>

サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要になった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療が困難になる場合があり、別の抗生物質の選択が必要になる可能性がある。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム（NARMS）の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/about/index.html>

FDA は、卵や卵を使用した料理を調査対象期間内に購入・喫食したと患者が報告した場

所にもとづいて追跡調査を実施し、卵の単一の供給業者として Country Eggs 社を特定した。

○ 公衆衛生上の措置

2025 年 8 月 27 日、Country Eggs 社は卵の回収を発表した（以下 Web ページ参照）。
<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/country-eggs-llc-recalls-large-brown-cage-free-sunshine-yolks-because-possible-health-risk>
CDC は、回収対象の卵を喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

2. 冷凍豆モヤシに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella Anatum*) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 22 日付更新情報)

Salmonella Outbreak Linked to Frozen Sprouted Beans

Aug. 22, 2025

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/sproutedbeans-07-25/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/sproutedbeans-07-25/investigation.html>

(Investigation Update)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/sproutedbeans-07-25/locations.html>

(Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/sproutedbeans-07-25/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC) は、冷凍豆モヤシに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella Anatum*) 感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2025 年 8 月 22 日付更新情報

○ 疫学調査および検査機関での検査によるデータ

2025 年 7 月 17 日付初発情報以降に新たな患者は報告されていない。

2025 年 8 月 20 日に米国食品医薬品局 (US FDA) は、Deep ブランドの輸入豆モヤシ製品「Premium Select Frozen Surti Undhiu Mix」の 1 検体からサルモネラが検出されたとの報告を受けた。全ゲノムシーケンシング (WGS) 解析の結果、当該サルモネラ株が本アウトブレイクの原因株と同じ株であることが示された。

○ 公衆衛生上の措置

FDA による検査の結果を受け、CDC および FDA は、既に回収対象となっている冷凍豆モヤシ製品（以下 Web ページ参照）に加え、ロットコードが「IN 25158K」で消費期限が「06 Dec 2026」（2026 年 12 月 6 日）の豆モヤシ製品「Premium Select Frozen Surti

Undhiu Mix」について、喫食・販売・提供しないよう消費者および食品事業者に注意喚起している。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/chetak-llc-group-recalls-product-because-possible-health-risk>

(食品安全情報(微生物) No.15 / 2025 (2025.07.23) US CDC 記事参照)

3. 小規模飼育の家禽類に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Anatum、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London* および *S. Mbandaka*) 感染アウトブレイク (2025 年 8 月 21 日付更新情報)

Salmonella Outbreak Linked to Backyard Poultry

Aug. 21, 2025

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/mbandaka-05-01/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/mbandaka-05-01/investigation.html>

(Investigation details)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/mbandaka-05-01/locations.html> (Locations)

<https://www.cdc.gov/salmonella/outbreaks/mbandaka-05-01/timeline.html> (Timeline)

米国疾病予防管理センター (US CDC) および複数州の公衆衛生当局は、複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Anatum、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London* および *S. Mbandaka*) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、本アウトブレイクの患者が小規模飼育の家禽類との接触により感染したことを示している。

○ 疫学データ

2025 年 6 月 26 日付更新情報以降に、新たに報告患者計 242 人、患者報告州 5 州、死亡者 1 人 (ペンシルベニア州の患者)、および原因血清型として *S. Anatum*、*S. Cerro* および *S. Johannesburg* が調査対象に追加された。

2025 年 8 月 8 日時点で、サルモネラ (*S. Anatum*、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London*、*S. Mbandaka*) アウトブレイク株のいずれかに感染した患者が 47 州から計 429 人報告されている (図 1)。患者の発症日は 2024 年 12 月 27 日～2025 年 7 月 26 日である (図 2)。情報が得られた患者 289 人のうち 93 人 (32%) が入院した。死亡者は計 2 人がイリノイ州およびペンシルベニア州から 1 人ずつ報告されている。

図 1：サルモネラ（*Salmonella* Anatum、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London* および *S. Mbandaka*）感染アウトブレイクの居住州別患者数
（2025 年 8 月 8 日時点の計 429 人）

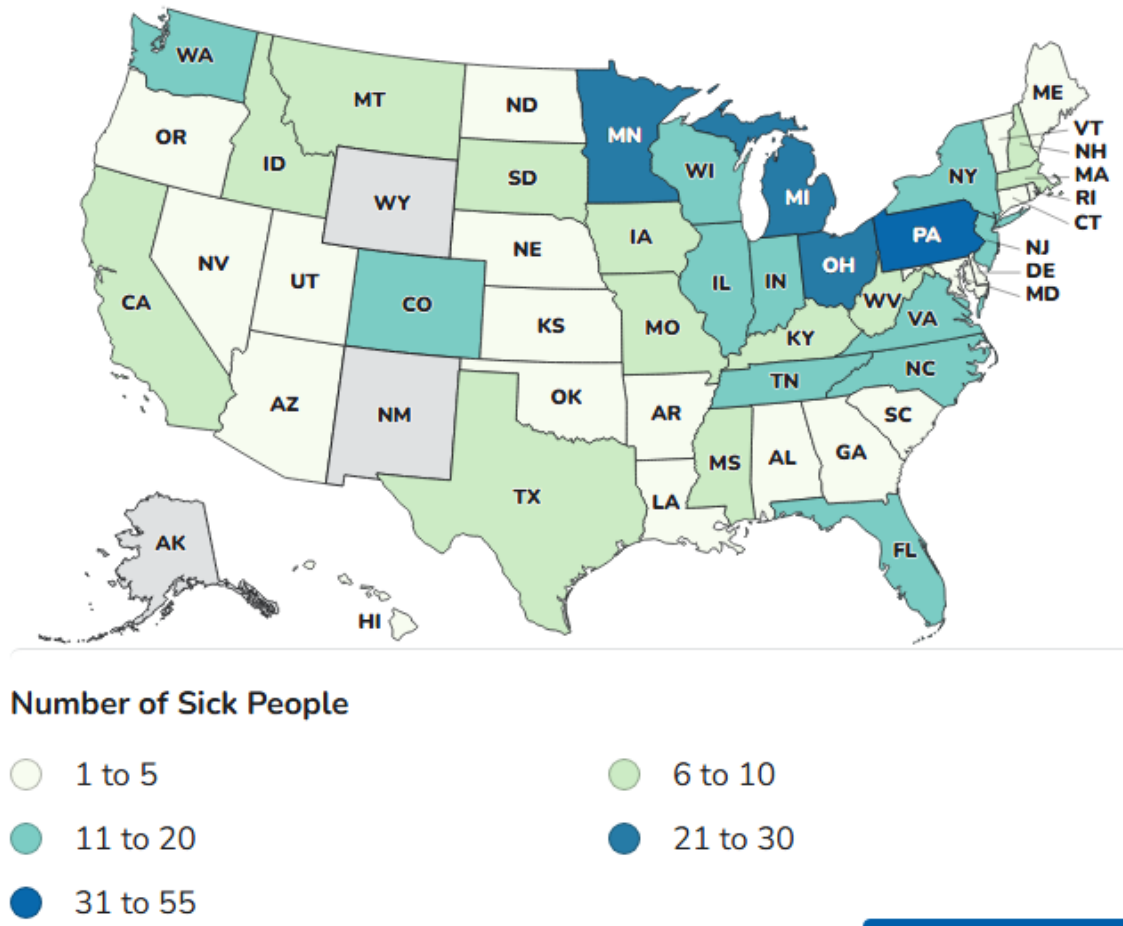
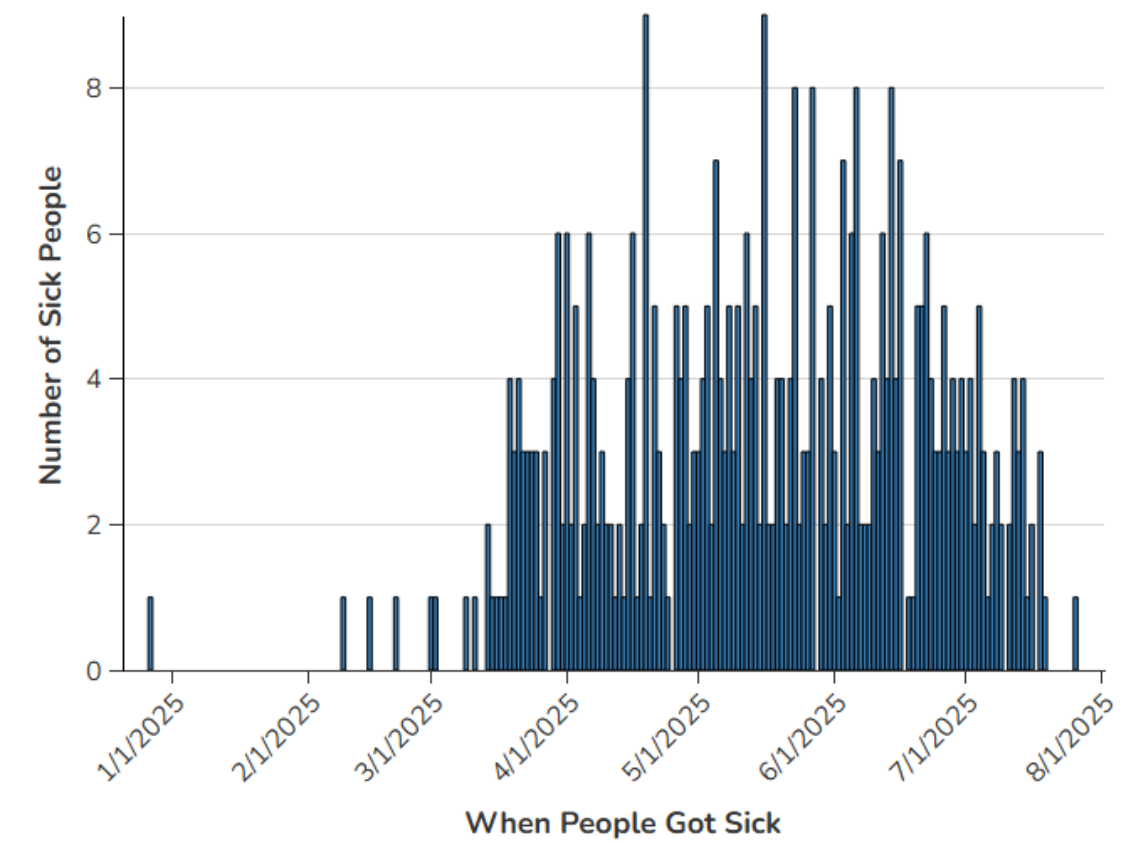


図 2：サルモネラ（*Salmonella* Anatum、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Johannesburg*、*S. London* および *S. Mbandaka*）感染アウトブレイクの発症日別患者数（2025 年 8 月 8 日時点の計 429 人）



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に接触した動物など、アウトブレイク患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢（n=400）	年齢範囲：1 歳未満～92 歳 年齢中央値：40 歳 5 歳未満：21%
性別（n=417）	58%：女性 42%：男性
人種（n=278）	93%：白人 3%：アフリカ系アメリカ人または黒人

	2%：アジア系 2%：アメリカ先住民またはアラスカ先住民 1%未満：ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島の住民
民族（n=273）	88%：非ヒスパニック系 12%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、本アウトブレイクの患者が発症前 1 週間に接触した動物に関する聞き取り調査を行っている。動物との接触に関する情報が得られた患者 270 人のうち、206 人（76%）が小規模飼育の家禽類との接触を報告した。

○ 追跡調査によるデータ

家禽類の小規模飼育を行っていることを報告した患者 119 人のうち 99 人（83%）が、2025 年 1 月 1 日以降に家禽類を購入または入手したことを報告した。患者は家禽類を農業用品店で購入したことを報告した。調査において、患者が家禽類を入手した場所、および患者が家禽類を購入した小売店に家禽類を供給した孵化場について、情報の収集が続けられている。

上記 7 種類のサルモネラアウトブレイク株は 4 カ所の孵化場に関連している。CDC は関連各州の当局と協力し、両孵化場にこの結果を通知し、これらの孵化場への供給業者が関連した可能性についても調査を進めている。調査は継続しているため、本アウトブレイクに関連した別の孵化場が新たに特定される可能性がある。

○ 検査機関での検査データ

テネシー、オハイオ、ミネソタおよびペンシルベニアの各州で実施された調査において、家禽類由来検体、および孵化場から小売店への家禽類の出荷時に使用された輸送箱内部からの検体（中敷き、敷き藁など）が採取され、また通常のサーベイランスにおいて孵化場からの検体が採取された。全ゲノムシーケンシング（WGS）解析が行われた結果、これらの検体から検出された *S. Enteritidis* 株、*S. Mbandaka* 株、*S. Cerro* 株、*S. Johannesburg* 株および *S. Anatum* 株が、各血清型の患者由来検体から分離された株とそれぞれ同一であることが示された。患者が購入したと報告した家禽類は、*S. Mbandaka* および *S. Enteritidis* の両アウトブレイク株が検出された環境検体に関連している孵化場由来のものであった。

WGS 解析の結果、患者由来 287 検体および環境由来 35 検体から分離されたサルモネラ株については抗生物質耐性の存在が予測されなかった。別の患者由来 13 検体および環境由来 3 検体では、アンピシリン（n=3）、ゲンタマイシン（n=9）、ストレプトマイシン（n=9）、スルフイソキサゾール（n=3）およびテトラサイクリン（n=10）への耐性が予測され、別の患者由来 1 検体では、シプロフロキサシンへの非感受性（NSC）のみが予測された。また

別の患者由来 125 検体および環境由来 1 検体では、シプロフロキサシンへの非感受性およびナリジクス酸への耐性が予測された。この NSC 株は、鶏肉・卵・小規模飼育の家禽類から分離された *S. Enteritidis* 株（米国食品医薬品局（US FDA）の以下 Web ページ参照）に関連している。

<https://www.fda.gov/animal-veterinary/national-antimicrobial-resistance-monitoring-system/narms-interim-data-updates#682e242c00467>

サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要になった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療が不可能な場合があり、別の抗生物質が必要になる可能性がある。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム（NARMS）の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/about/index.html>

○ 公衆衛生上の措置

CDC は、健康被害を防ぐため、小規模飼育の家禽類を取り扱う際に衛生手順（以下 Web ページ参照）を遵守するよう注意喚起を行っている。

https://www.cdc.gov/healthy-pets/about/backyard-poultry.html?CDC_AAref_Val=https://www.cdc.gov/healthypets/pets/farm-animals/backyard-poultry.html#cdc_generic_section_3-how-to-stay-healthy-around-backyard-poultry

CDC および州の当局は、家禽類を販売する孵化場や小売店と協力し、家禽類を初めて所有する人への啓発および孵化場でのサルモネラ伝播防止に取り組んでいる。

（食品安全情報（微生物）No.14/2025（2025.07.09）、No.13/2025（2025.06.25）、No.10/2025（2025.05.14）US CDC 記事参照）

4. 米国のサイクロスポラ症患者に関する 2025 年のサーベイランス調査（2025 年 8 月 21 日付更新情報）

Surveillance of Cyclosporiasis

Aug. 21, 2025

<https://www.cdc.gov/cyclosporiasis/php/surveillance/index.html>

米国疾病予防管理センター（US CDC）は、共通の原因食品に関連したサイクロスポラ症アウトブレイクを探知するため、各州および連邦の公衆衛生・食品規制当局と協力し、年間を通じてサイクロスポラ症患者のモニタリングを行っている。

サイクロスポラ症の患者数は、通常は春季および夏季の数カ月間に増加する。2025 年は 5 月に患者が報告され始めた。

2025 年 8 月 19 日時点で、国内感染サイクロスポラ症患者計 752 人が 34 州から報告されている（図）。これらの患者は米国内で食品を喫食後に発症し、発症前 14 日間の国外旅行歴を報告していない。

● 1 to 10
 ● 11 to 30
 ● 31 to 80
 ● 81 to 160
 ● 161 to 300

地域・州の公衆衛生当局、CDC および米国食品医薬品局（US FDA）は、複数の患者クラスターを調査している。可能性がある感染源を特定するための調査が進められている。現時点では、特定の食品とアウトブレイクとの関連は示されていない。

発症前 14 日間の国外旅行中に原因食品・水を飲食した患者が、2025 年 8 月 19 日時点で

計 739 人報告されている。患者の年齢範囲は 1～90 歳、年齢中央値は 44 歳で、62%が女性である。発症日の中央値は 2025 年 6 月 28 日（範囲は 5 月 1 日～7 月 9 日）である。情報が得られた患者 739 人のうち 29 人が入院した。死亡者は報告されていない。

（食品安全情報（微生物）No.15 / 2025（2025.07.23）、No.14 / 2025（2025.07.09）US CDC 記事参照）

● カナダ公衆衛生局（PHAC: Public Health Agency of Canada）

<https://health.canada.ca/index-phac-aspc.php>

公衆衛生通知：様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka* および *S. Meleagridis*）感染アウトブレイク（2025 年 8 月 19 日付更新情報）

Public health notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to various brands of pistachios and pistachio-containing products

August 19, 2025: Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2025/outbreak-salmonella-infections-pistachios-related-products.html>

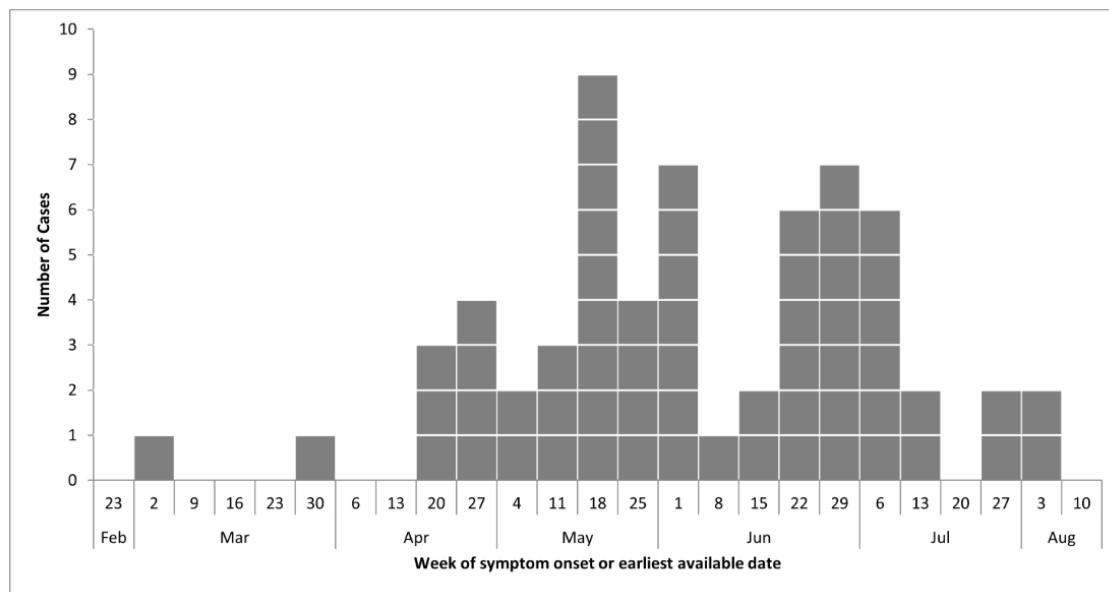
カナダ公衆衛生局（PHAC）は、様々なブランドのピスタチオおよびピスタチオ入り食品に関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka* および *S. Meleagridis*）感染アウトブレイクに関する公衆衛生通知を更新した。

本アウトブレイクの調査は継続している。

○ 調査の概要

本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Havana*、*S. Mbandaka* または *S. Meleagridis* への感染が確定した患者が 4 州から計 62 人報告されている。州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア（5 人）、マニトバ（1）、オンタリオ（11）およびケベック（45）である。患者の発症日は 2025 年 3 月上旬～8 月上旬である（図）。報告患者のうち 10 人が入院し死亡者はいない。患者の年齢範囲は 2～89 歳である。患者の 76%が女性である。

図：サルモネラ（*Salmonella* Havana、*S. Mbandaka* および *S. Meleagridis*）感染アウトブレイクの発症週別患者数（2025 年 8 月 19 日時点の計 62 人）



患者の多くがピスタチオまたはピスタチオ入り食品（ドバースタイルのチョコレート、ペストリー製品など）の喫食を報告した。回収対象製品（以下 Web ページ参照）のうち、Habibi ブランドのピスタチオ、および Dubai ブランドのチョコレート「Pistachio & Knafeh Milk Chocolate」の複数検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

<https://inspection.canada.ca/en/inspection-and-enforcement/food-safety-investigations/pistachio-recall-salmonella#a3>

調査は継続しているため、本アウトブレイクに関連した別の食品が新たに特定される可能性がある。

（食品安全情報（微生物）No.17 / 2025（2025.08.20）PHAC 記事参照）

● 欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety）

https://commission.europa.eu/about/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/food-safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2025 年 7 月 29 日～8 月 18 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

スペイン産食肉製品のリステリア (*L. monocytogenes*)、スペイン産ミニチョリソーの志賀毒素／ベロ毒素産生性大腸菌、ポーランド産冷凍ビーフバーガーのサルモネラ (10g 検体 1/5 陽性)、ブルガリア産全卵粉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ノルウェー産 (オランダ経由) ニシンのリステリア (*L. monocytogenes*)、フランス産の生鮮鶏首皮のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、米国産ピスタチオのサルモネラ属菌、オランダ産マッシュポテトのセレウス菌、フランス産タラ製品 (フィッシュ・アンド・チップス) のリステリア (*L. monocytogenes*)、北アイルランド産フムスのリステリア (*L. monocytogenes*)、フランス産粉乳のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、フランス産ヤギ生乳チーズの腸管出血性大腸菌 (志賀毒素産生性大腸菌)、フランス産の生乳チーズの志賀毒素産生性大腸菌、スペイン産フェ (サラミソーセージ) のサルモネラ、ベルギー産牛肉の志賀毒素産生性大腸菌 (*stx+*、*eae+*)、オランダ産冷凍鶏ドラムスティック肉のサルモネラ、エストニア産塩漬け鶏肉のサルモネラ属菌 (25g 検体陽性)、ポーランド産冷凍食肉製品のサルモネラ (*S. Agona*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

イタリア産ルッコラのサルモネラ属菌、ドイツ産 (ポーランド産原材料使用) 鶏脚肉加工品のサルモネラ属菌、アイルランド産低脂肪ポークソーセージ (グルテンフリー) のサルモネラ属菌、フランス産ローストポークのリステリア、チュニジア産デーツのノロウイルス、フランス産ベビーハウレンソウの葉のリステリア (*L. monocytogenes*)、アイルランド産コリアンダーのリステリア (*L. monocytogenes*)、イラン産ピスタチオのサルモネラ、ポーランド産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ルーマニア産の生鮮鶏脚肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*、*S. Infantis*)、スウェーデン産ハンバーガー用牛肉のサルモネラ、ルーマニア産冷蔵鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、オランダ産緑豆モヤシのベロ毒素産生性大腸菌、イタリア産サラダのサルモネラ (*S. Typhimurium*)、米国産アーモンドカーネル (原材料)

のサルモネラ属菌、ルーマニア産グリルチキンのサルモネラ属菌、ポーランド産鶏肉製品のサルモネラ (*S. Infantis*、*S. Newport*、*S. Agona*、*S. Derby*)、ポーランド産の生鮮家禽肉のサルモネラ属菌、アイルランド産ハウレンソウの葉のリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産の生鮮家禽肉のサルモネラ (*S. Infantis* (2/5 検体陽性)、*S. Newport* (1/5 検体陽性)) など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

オランダ産の生ペットフードのサルモネラ、ドイツ産大豆ミールのサルモネラ属菌、ブラジル産牛肉の志賀毒素産生性大腸菌、ポーランド産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ウルグアイ産冷凍メルルーサの線虫類 (nematode)、リトアニア産の生鮮牛肉のサルモネラ、オランダ産乳製品の乳酸菌、ルーマニア産チーズの非病原性細菌、ポーランド産鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*、*S. Newport*)、イタリア産ラビットミール (ペットフード用) のサルモネラ、リトアニア産冷凍チキンラビオリのサルモネラ属菌など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ属菌、アルゼンチン産加工動物タンパク質の腸内細菌科菌群、インド産ゴマ種子のサルモネラ属菌 (2/5 検体陽性)、シリア産タヒニのサルモネラなど。

● 欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<https://www.efsa.europa.eu/en>

2025 年世界食品安全デー：欧州食品安全機関 (EFSA) が祝賀行事に参加

World Food Safety Day 2025: EFSA celebrates “Science in Action”

6 June 2025

<https://www.efsa.europa.eu/en/news/world-food-safety-day-2025-efsa-celebrates-science-action>

2025 年 6 月 7 日、欧州食品安全機関 (EFSA) は世界食品安全デー (World Food Safety Day) の祝賀行事に参加する。この日は「供給チェーンのあらゆる段階における食品安全性の確保」という各機関に共通する責任について考える機会となる。今年のテーマは「食品安全：科学の実践 (Food Safety: Science in Action)」であり、消費者を保護し、食卓に並ぶ食品に対する信頼を築く上で科学が果たす重要な役割に焦点を当てている。

科学は、EFSA の使命である「公衆衛生の保護」の中核を成している。EFSA は最先端の科学的知見を活用してリスクを評価し、エビデンスにもとづく助言を行い、欧州全体での効果的な食品安全対策の策定を支援している。

EFSA はこの機会に、科学にもとづく取り組みが食品安全の課題に対処し、食品由来リスクを防止する方法について周知するための様々なコミュニケーション資料を配布している。これらの活動は、欧州連合（EU）加盟各国と協力して実施される共同キャンペーン「#Safe2EatEU」の枠組みにおいても促進されている（以下 Web ページ参照）。

<https://www.efsa.europa.eu/en/safe2eat>

資料：

- EFSA の Carlos das Neves 主任研究員によるポッドキャスト(以下 Web ページ参照)。レギュラトリーサイエンス、食品安全における科学的エビデンスの役割、および EFSA 研究員の日常業務について解説している。

<https://www.efsa.europa.eu/en/podcast/episode-29-science-action-people-behind-food-safety>

- カスタマイズ可能なコミュニケーション用資料（以下 Web ページ参照）：Safe2Eat キャンペーンの一環として加盟各国に提供され、国レベルでのアウトリーチ活動を支援する。

<https://www.efsa.europa.eu/en/safe2eat/toolkit>

- インフルエンサー主導の動画シリーズ：ポーランド、スペインおよびルーマニアで制作され、ソーシャルメディアの「Before/After」形式を用いて、一般的な食品取り扱い習慣を科学にもとづく簡単な行動で改善できることを示す。

世界食品安全デーを記念して、EFSA は 6 月 7 日前後に世界保健機関（WHO）、EU 加盟各国、EU 加盟候補国によって開催されている一連のイベントおよび会議に参加している。イタリア、ポルトガル、トルコ、ボスニア・ヘルツェゴビナおよび北マケドニアにおける取り組みは、公衆衛生を守るための科学にもとづく食品安全の重要性について、国際機関、各国当局、関係者、および一般市民と交流する貴重な機会となる。

EFSA は、欧州および近隣地域における知見の共有と食品安全基準の整合化を支援することで、国際協力と能力開発への取り組みの重要性を訴える。これらの取り組みは、食品安全に関する共通の文化を育み、人々が喫食する食品の安全性を確保するために不可欠であり、EU における消費者の利益のために行う具体的な「科学の実践」である。

● アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland: Health Protection Surveillance Centre, Ireland）

<https://www.hpsc.ie>

リステリア症アウトブレイクを調査中

Listeriosis outbreak under investigation

Published: July 25, 2025

<https://www.hpsc.ie/news/title-24987-en.html>

2025 年 7 月 25 日現在、アイルランドのアウトブレイク対策チーム（OCT: Outbreak Control Team）がリステリア症の大規模アウトブレイクの調査を行なっている。当該アウトブレイクとの関連により、温めるだけで喫食可能な（ready-to-heat）食品の予防的自主回収が実施されている。2025 年 7 月 22 日時点で、リステリア症の確定患者は 9 人特定されている。保健サービス局（HSE）の保健サーベイランスセンター（HPSC）は、リステリア症の成人確定患者 1 人の死亡事例について報告を受けており、現在調査中である。

アウトブレイク対策チームは、HSE National Health Protection Office が運営しており、HSE National Environmental Health Service、HSE Regional Public Health Service、アイルランド食品安全局（FSAI）、サルモネラ・赤痢菌・リステリアに関する国立リファレンス検査機関、および農業食糧海洋省（DAFM）の国立リファレンス検査機関により構成される。

本アウトブレイク調査は継続中である。

対象食品の回収に関する食品警報については、FSAI の以下の Web サイトで確認することができる。

<https://www.fsai.ie/news-alerts/food>

リステリア症アウトブレイクに関する消費者向けアドバイスについては、FSAI の以下の Web サイトで確認することができる。

<https://www.fsai.ie/consumer-advice/food-safety-and-hygiene/advice-for-consumers-regarding-listeriosis-outbreak>

リステリア症について

リステリア症は、リステリア (*Listeria monocytogenes*) という細菌による感染症であり、通常、汚染された食品の喫食により感染する。リステリアは、食品を十分に（完全に熱くな

るまで) 加熱することで死滅する。

*Listeria monocytogenes*に関連する疾患

*L. monocytogenes*による重篤な感染症は、非常に稀である。健康な小児や成人では、インフルエンザ様の症状や下痢を引き起こす場合があるが、感染が診断されることは極めて稀である。重篤化する人は、そのほとんどが感染症に対して特に脆弱な人々である。これらの人々には、特定の基礎疾患を持つ人、高齢者、妊娠中の女性などが含まれる。

重篤化した場合、*L. monocytogenes*は血液中に侵入し（血流感染）、血液から中枢神経系に広がることで髄膜炎を引き起こす可能性がある。

*L. monocytogenes*は主に汚染された食品を介して感染し、高齢者、免疫力が低下している人および妊娠中の女性にとって特に危険である。これらの人々は、特にリスクの高い食品を避け、温めるだけで喫食可能な食品は製造元の指示に従い、完全に熱くなるまで加熱してから喫食すべきである。

妊娠中の女性が感染した場合、症状が全く現れないか、軽度のインフルエンザ様症状を呈することがある。しかし、妊娠中の感染は胎児に伝播し、胎児に重篤な感染症を引き起こす可能性がある。これにより、流産もしくは重症乳児の早産につながる可能性がある。

(関連記事)

アイルランド食品安全局 (FSAI)

リステリア症アウトブレイクを調査中

Listeriosis outbreak under investigation

25 JULY 2025

<https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/listeriosis-outbreak-under-investigation>

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室